

令和2年12月26日

唐丹希望基金の皆様

唐丹小・中学校保護者代表
唐丹小中学校PTA
会 長 佐久間 定樹
釜石市立唐丹小学校
校 長 佐々木 康人
釜石市立唐丹中学校
校 長 菊地 正道

「唐丹希望基金」に感謝の気持ちを込めて

唐丹希望基金の皆様におかれましては、日頃より、唐丹の子どもたちを様々な面でご支援していただいていることに心より感謝申し上げます。

まずは、昨今のコロナウイルスの感染拡大に伴い、予定しておりました「唐丹希望基金に感謝する会」を中止せざる得なくなったことについてお詫び申し上げます。今後どのようなになるか見通しが立たない状況であることからご理解を賜りたく思います。

さて、思い起こせば、あの大きな災害から10年の年月が経とうとしております。

私たちの復興は津波や地震によって無残に壊された校舎を片付けることから始まりました。体育館や隣の小学校で勉強を始め、やがて建てられた仮設校舎で混乱の中でも少しずつ日常を取り戻していきました。各家庭はまだ不安の中でしたが、「こんな時こそ、何とか運動会だけは…」と学校・保護者・地域が一体となって、瓦礫や重機がまだ残ったグラウンドで小中合同運動会を始めました。生徒たちもこのままではいけないと立ち上がり、私たちの文化を残したいと「大石虎舞」に本格的に取り組み始めました。少しずつではありますが、着実に前へ向かって進むことができました。

お陰様でこの唐丹の復興も大分進み、復興道路である三陸自動車道が開通し、防潮堤はほぼ完成しようとしています。地域も各家庭でも新しい生活が始まっております。特に、子供たちは3年前から素晴らしい校舎で元気に学習に励むことができ、運動、文化あ

らゆる場面で活躍しており、唐丹の地域の方々にも元気を発信することが出来ています。また、卒業生たちも、それぞれ自分の選んだ道で力強く頑張っています。これも唐丹希望基金の皆様より様々な形で、私たちの心に寄り添った温かなご支援をいただきましたことがとても大きかったと感謝しております。

本来であれば、お一人お一人に感謝の気持ちを申し述べるべきところではありますが、現状では、それも叶わず大変心苦しいところではありますが、この書面を持ってお礼の言葉とさせていただきます。

いつか、ご支援していただいた子供たちが、この後の釜石の復興に貢献できる人材に成長し、元気に活躍している様子をお知らせすることができましたならば、皆様のご支援に応える一番の御報告になると信じて、これからも学校・保護者・地域も一層努力いたします。

皆様のご支援に心から感謝申し上げるとともに、皆様の今後ますますのご発展をご祈念しております。10年間誠にありがとうございました。